

B.2 モニタリング実績

(1) 活動量 (燃料消費量、生成熱量、生産量等)

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間	
$Q_{BL, heat, output}$	プロジェクト実施後の対象設備による生成熱量 (A重油)	GJ	C	熱量計で計測して把握する。	月	9,138.6	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$Q_{BL, heat, output}$	プロジェクト実施後の対象設備による生成熱量 (灯油)	GJ	C	熱量計で計測して把握する。	月	872.1	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$EL_{PJ, auxiliary}$	プロジェクト実施後の追加設備における電力使用量	kWh/年	C	設備定格電力×設備稼働時間 (データロガーにより把握)で算出する。	月	225,696	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類 (分類A・B・Cのいずれか) とすること。

(2) 係数 (単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等)

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (又は計測時期)	
ϵ_{BL}	ベースラインの対象設備のエネルギー消費効率 (A重油)	%	II	カタログ値を使用する	プロジェクト開始時	84.1	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
ϵ_{BL}	ベースラインの対象設備のエネルギー消費効率 (A重油)	%	II	カタログ値を使用する	プロジェクト開始時	84.1	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$CEF_{electricity, t}$	電力のCO2排出係数	tCO2/kWh	III	デフォルト値を使用する。	年	0.000516(2016) 0.000496(2017~)	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$CEF_{BL, fuel}$	ベースラインの対象設備で使用する燃料の単位発熱量当たりのCO2排出係数	tCO2/GJ	III	デフォルト値を使用する。 (A重油)	年	0.0708	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$CEF_{BL, fuel}$	ベースラインの対象設備で使用する燃料の単位発熱量当たりのCO2排出係数 (灯油)	tCO2/GJ	III	デフォルト値を使用する。 (灯油)	年	0.0686	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$HV_{PJ, transport, biosolid}$	プロジェクト実施後のバイオマス固形燃料の運搬に使用する燃料の単位発熱量	GJ/kL	III	デフォルト値(軽油)を使用する	年	38.0	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$HV_{PJ, transport, feedstock}$	プロジェクト実施後のバイオマス原料の運搬における燃料の単位発熱量	GJ/kL	III	デフォルト値(軽油)を使用する	年	38.0	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
$CEF_{PJ, transport, biosolid}$	プロジェクト実施後のバイオマス固形燃料の運搬に使用する燃料の単位発熱量当たりのCO2排出係数	tCO2/GJ	III	デフォルト値(軽油)を使用する	年	0.1	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類 (分類I・II・IIIのいずれか) とすること。

B.3 排出削減量の算定方法

B.3.1 排出削減量の評価

(1) 算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量の算定

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした活動のモニタリング結果に基づき排出削減量を算定すること。

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (式1)$$

記号	定義	単位	算定値
<i>ER</i>	算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量	tCO2	727.4
<i>EM_{BL}</i>	ベースライン排出量 ※1	tCO2	840.5
<i>EM_{PJ}</i>	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2	113.1

※1 B.3.2のベースライン排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※2 B.3.4のプロジェクト実施後排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※3 B.3.4まで入力後、自動計算されます。

(2) 付随的な排出活動に基づく排出量の影響度による評価

注) プロジェクト計画書において「排出量を算定する。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する」と選択したプロジェクト実施後の付随的な排出活動の排出量の評価を行うこと。(1)で算定した排出削減量に対して

計画書で定めた影響度を垂って算定を行うこと。

排出活動	影響度 (%) ※1	排出量 (tCO2)
バイオマス原料の運搬	0.30%	2.2
バイオマス固形燃料の運搬	0.10%	0.7
バイオマス固形燃料処理設備の使用	4.80%	34.9

※1 プロジェクト計画書で評価した影響度を記載すること。

(3) 排出削減量の評価

注) (1)で算定した排出削減量から(2)で評価した排出量を差し引くことにより、排出削減量を算定すること。

記号	定義	単位	算定値
<i>ER</i>	排出削減量	tCO2	689.6
	(1)で算定した排出削減量	tCO2	727.4
	(2)で評価した排出量(※1)	tCO2	37.8

※1 (2)で評価した排出量の総和を記載すること。行を追加して記載した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

B.3.2 プロジェクト実施後排出量

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした排出活動について、プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び本報告において認証を申請する期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

(考え方) ※1 バイオマス固形燃料(木質チップ)を活用するため、プロジェクト実施後の主要排出量は 0 tCO₂/年である。

(式)

記号	定義	単位	実績値
$EM_{PJ,M}$	プロジェクト実施後の主要排出量	tCO ₂ /年	0

※1 主要排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1 「プロジェクト実施後の追加設備によるプロジェクト実施後排出量」の算定を行う。その他はB.3.1(2)で評価するため算定は省略する。

(式)

記号	定義	単位	算定値
$EM_{PJ,S}$	プロジェクト実施後の付随的な排出量	tCO ₂ /年	113.1
$EM_{PJ,S,auxiliary}$	プロジェクト実施後の追加設備によるプロジェクト実施後排出量	tCO ₂ /年	113.1

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

$$EM_{PJ,S,auxiliary} = EL_{PJ,auxiliary} \times CEF_{electricity,t} \quad (式9)$$

記号	定義	単位	想定値
$EM_{PJ,S,auxiliary}$	プロジェクト実施後の追加設備によるプロジェクト実施後排出量	tCO ₂ /年	113.1
$EL_{PJ,auxiliary}$	プロジェクト実施後の追加設備における電力使用量 (2016年)	kWh/年	57,963
$EL_{PJ,auxiliary}$	プロジェクト実施後の追加設備における電力使用量 (2017年～)	kWh/年	167,733
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO ₂ 排出係数 (2016年)	tCO ₂ /kWh	0.000516
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO ₂ 排出係数 (2017年～)	tCO ₂ /kWh	0.000496

B.3.3 ベースライン排出量の考え方

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) ベースライン排出量の考え方

本方法論におけるベースライン排出量は、プロジェクト実施後の熱源設備による生成熱量を、プロジェクト実施後の熱源設備からではなく、ベースラインの熱源設備から得る場合に想定される CO2 排出量とする。

(2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

$$Q_{BL,heat,output} = Q_{PJ,heat,output} \quad (\text{式b-1})$$

記号	定義	単位	実績値
$Q_{BL,heat,output}$	ベースラインの対象設備における生成熱量 (A重油)	GJ/年	9,138.6
$Q_{PJ,heat,output}$	プロジェクト実施後の対象設備における生成熱量 (A重油)	GJ/年	9,138.6
$Q_{BL,heat,output}$	ベースラインの対象設備における生成熱量 (灯油)	GJ/年	872.1
$Q_{PJ,heat,output}$	プロジェクト実施後の対象設備における生成熱量 (灯油)	GJ/年	872.1

B.3.4 ベースライン排出量

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = Q_{BL,heat,output} \times 100 / \varepsilon_{BL} \times CEF_{BL,fuel} \quad (\text{式b-5})$$

記号	定義	単位	実績値
$EM_{BL,M}$	ベースラインの主要排出量	tCO2/年	840.5
$Q_{BL,heat,output}$	ベースラインの対象設備による生成熱量 (A重油)	GJ/年	9,138.6
$Q_{BL,heat,output}$	ベースラインの対象設備による生成熱量 (灯油)	GJ/年	872.1
ε_{BL}	ベースラインの対象設備のエネルギー消費効率	%	84.1
ε_{BL}	ベースラインの対象設備のエネルギー消費効率	%	84.1
$CEF_{BL,fuel}$	ベースラインの対象設備で使用する燃料の単位発熱量当たりのCO2排出係数 (A重油)	tCO2/GJ	0.0708
$CEF_{BL,fuel}$	ベースラインの対象設備で使用する燃料の単位発熱量当たりのCO2排出係数 (灯油)	tCO2/GJ	0.0686

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1 本事業で適用する方法論では、ベースラインの付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

(式)

記号	定義	単位	実績値
EM_{BLS}	ベースラインの付随的な排出量	tCO2/年	

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.4 省エネルギー量の算定

燃料種別 (※1)	認証を申請する期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)							
	エネルギー使用量			熱量換算 (GJ)※2		原油換算 (KL)※2		
	単位	ベースライン	プロジェクト 実施後	ベースライン	プロジェクト 実施後	ベースライン (①)	プロジェクト 実施後 (②)	ベースライン -プロジェクト 実施後 (① -②)
A重油	k l							0.0
L P G	t							0
天然ガス	千Nm ³							0
L N G	t							0
都市ガス	千Nm ³							0
購入電力	k W h							0
							合計	0

※1表に記載の燃料以外を用いる場合には、行を追加して記載すること。

※2熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

B.5 再生可能エネルギー量の算定 (該当する項目のみ記入)

(1) 再生可能エネルギー由来の発電量

認証を申請する期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
ベースライン	プロジェクト実施後		再生可能エネルギー由来の発電量 $③ \times (1 - ② / ①)$
①排出量	②付随排出量	③発電量 (自家消費分のみ)	
[t-CO2]	[t-CO2]	[kWh]	[MWh]

(2) 再生可能エネルギー熱の利用量

認証を申請する期間 (2016年7月1日 ~ 2019年5月31日)			
ベースライン	プロジェクト実施後		再生可能エネルギー熱の利用量 $③ \times (1 - ② / ①)$
①排出量	②付随排出量	③生成熱量	
[t-CO2]	[t-CO2]	[GJ]	[GJ]
840.5	37.8	10,010.7	9,560.5

B.2 モニタリング実績

(1) 活動量 (燃料消費量、生成熱量、生産量等)

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間	
ELpv	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量	kWh/年	B	電力量計により把握する	年1回	10,197 (2016年) 4,053 (2017年4月5月) 32,395 (2017年6月～)	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	
ELpvr	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量	kWh/年	-	逆潮流なし	-	0.0	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類 (分類A・B・Cのいずれか) とすること。

(2) 係数 (単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等)

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (又は計測時期)	
CEFelectricity,t	電力のCO2 排出係数	kgCO2/kWh	III	デフォルト値を使用する。	年1回	<u>2016年 0.519 (1<t≤2.5)</u> 0.516 (全電源) 0.522 (限界) <u>2017年～</u> <u>0.516 (~5/31, 1<t≤2.5)</u> <u>0.535 (6/1~, t>2.5)</u> 0.496 (全電源) 0.535 (限界)	2016年7月1日 ~ 2019年5月31日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類 (分類I・II・IIIのいずれか) とすること。

B.3 排出削減量の算定方法

B.3.1 排出削減量の評価

(1) 算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量の算定

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした活動のモニタリング結果に基づき排出削減量を算定すること。

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (\text{式1})$$

記号	定義	単位	算定値
<i>ER</i>	算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量	tCO2	24.7
<i>EM_{BL}</i>	ベースライン排出量 ※1	tCO2	24.7
<i>EM_{PJ}</i>	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2	0.0

※1 B.3.2のベースライン排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※2 B.3.4のプロジェクト実施後排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※3 B.3.4まで入力後、自動計算されます。

(2) 付随的な排出活動に基づく排出量の影響度による評価

注) プロジェクト計画書において「排出量を算定する。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する」と選択したプロジェクト実施後の付随的な排出活動の排出量の評価を行うこと。(1)で算定した排出削減量に対して計画書で定めた影響度を乗じて算定を行うこと。

排出活動	影響度 (%) ※1	排出量 (tCO2)
パワーコンディショナーの利用	0.00%	0.0

※1 プロジェクト計画書で評価した影響度を記載すること。

(3) 排出削減量の評価

注) (1)で算定した排出削減量から(2)で評価した排出量を差し引くことにより、排出削減量を算定すること。

記号	定義	単位	算定値
<i>ER</i>	排出削減量	tCO2	24.7
	(1)で算定した排出削減量	tCO2	24.7
	(2)で評価した排出量(※1)	tCO2	0.0

※1 (2)で評価した排出量の総和を記載すること。行を追加して記載した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

B.3.2 プロジェクト実施後排出量

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした排出活動について、プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び本報告において認証を申請する期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

(考え方) ※1 方法論より、 $EM_{PJ}=0tCO_2$ とする。

(式)

記号	定義	単位	実績値
$EM_{PJ,M}$	プロジェクト実施後の主要排出量	tCO ₂ /年	0

※1 主要排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1 B.3.1(2)で評価するため算定は省略する。

(式)

記号	定義	単位	算定値
$EM_{PJ,S}$	プロジェクト実施後の付随的な排出量	tCO ₂ /年	0.0

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.3.3 ベースライン排出量の考え方

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) ベースライン排出量の考え方

ベースライン排出量は、プロジェクト実施後に自家消費した電力量を、プロジェクト実施後の太陽光発電設備からではなく、ベースラインの系統電力等から得る場合に想定されるCO2排出量である。

(2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

$$EL_{BL} = EL_{PJ} = EL_{pv} - EL_{pvr} \quad (\text{式7})$$

記号	定義	単位	実績値
EL_{BL}	ベースラインの系統電力使用量 (2016年)	kWh/年	10,197
EL_{BL}	ベースラインの系統電力使用量 (2017年4月、5月)	kWh/年	4,053
EL_{BL}	ベースラインの系統電力使用量 (2017年6月～)	kWh/年	32,395
EL_{PJ}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち自家消費した電力量 (2016年)	kWh/年	10,197
EL_{PJ}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち自家消費した電力量 (2017年4月、5月)	kWh/年	4,053
EL_{PJ}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち自家消費した電力量 (2017年6月～)	kWh/年	32,395
EL_{pv}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量 (2016年)	kWh/年	10,197
EL_{pv}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量 (2017年4月、5月)	kWh/年	4,053
EL_{pv}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量 (2017年6月～)	kWh/年	32,395
EL_{pvr}	プロジェクト実施後の太陽光発電設備による発電電力量のうち他者に提供した電力量	kWh/年	0

B.3.4 ベースライン排出量

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = Q_{BL,heat, output} \times 100 / \epsilon_{BL} \times CEF_{BL,fuel} \quad (\text{式b-5})$$

記号	定義	単位	想定値
EM_{BL}	ベースラインの主要排出量 合計	tCO2/年	24.7
EM_{BL}	ベースラインの主要排出量 (2016年)	tCO2/年	5.3
EM_{BL}	ベースラインの主要排出量 (2017年4月、5月)	tCO2/年	2.1
EM_{BL}	ベースラインの主要排出量 (2017年6月～)	tCO2/年	17.3
EL_{BL}	ベースラインの系統電力使用量 (2016年)	kWh/年	10,197
EL_{BL}	ベースラインの系統電力使用量 (2017年4月、5月)	kWh/年	4,053
EL_{BL}	ベースラインの系統電力使用量 (2017年6月～)	kWh/年	32,395
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2 排出係数 (2016年、 $1 \leq t < 2.5$)	kgCO2/kWh	0.519
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2 排出係数 (2017年、 $1 \leq t < 2.5$)	kgCO2/kWh	0.516
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2 排出係数 (2017年、 $t > 2.5$)	kgCO2/kWh	0.535

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1 本事業で適用する方法論では、ベースラインの付随的な排出活動は規定されていないため、付随的な排出活動は評価しない。

(式)

記号	定義	単位	実績値
$EM_{BL,S}$	ベースラインの付随的な排出量	tCO2/年	0

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.4 省エネルギー量の算定

燃料種別 (※1)	認証を申請する期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)							
	エネルギー使用量			熱量換算 (GJ)※2		原油換算 (KL)※2		
	単位	ベースライン	プロジェクト 実施後	ベースライン	プロジェクト 実施後	ベースライン (①)	プロジェクト 実施後 (②)	ベースライン -プロジェクト 実施後 (① -②)
A重油	k l							0.0
LPG	t							0
天然ガス	千Nm ³							0
LNG	t							0
都市ガス	千Nm ³							0
購入電力	kWh							0
							合計	0

※1表に記載の燃料以外を用いる場合には、行を追加して記載すること。

※2熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

B.5 再生可能エネルギー量の算定 (該当する項目のみ記入)

(1) 再生可能エネルギー由来の発電量

認証を申請する期間 (2016年7月1日 ~ 2019年5月31日)			
ベースライン	プロジェクト実施後		再生可能エネルギー由来の発電量 $\text{③} \times (1 - \text{②}/\text{①})$
①排出量	②付随排出量	③発電量 (自家消費分のみ)	
[t-CO2]	[t-CO2]	[kWh]	[MWh]
24.7	0	46,645	46.645

(2) 再生可能エネルギー熱の利用量

認証を申請する期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
ベースライン	プロジェクト実施後		再生可能エネルギー熱の利用量 $\text{③} \times (1 - \text{②}/\text{①})$
①排出量	②付随排出量	③生成熱量	
[t-CO2]	[t-CO2]	[GJ]	[GJ]